

# 楽しく子育て すくすく伸ばそう!

## 二中校区ネットワーク

### 「ありがとう」「ごめんなさい」と言える子に。

人と人をつなぐ優しい言葉です。「おはよう」「さようなら」などのあいさつとともに、相手とのコミュニケーションをはかる上で大切な自己表現の第一歩といえるでしょう。

自他の関係を潤すこれらの言葉。日頃から使い慣れていなければなかなか口に出すことができないものです。まずは大人側からのアプローチが必要ですね。「おはよう。今日は自分で起きれたね。」「おかえり、外あつかったでしょう。」など、あいさつの後に一言添えながら語りかけてみるのはどうでしょう。子どもの側からこんな言葉が出るようになってわたしたち大人の生活も潤うはず。自分の気持ちを素直に表現できる子どもに育てたいですね。言葉の潤滑油で潤いのある生活を・・・

### 規則正しい生活リズムは、豊かな心を刻みます。

朝起きて夜寝るまで。一日の規則正しい生活の流れは、子どもの毎日の活動を安定させ、すこやかな成長を助けます。食事や睡眠が充分でないのに、気持ちをコントロールできない子どもがイライラしたりむかついたりするのは当然のことですね。

朝、しっかりと食事をとること。充分な睡眠をとること。時間帯を決めて勉強することも大事な生活リズムの一つといえるでしょう。

リズムは習慣化が必要です。毎日続けることが子どもの心と体をつくり、小気味よいリズムを刻んでくれます。

### 失敗しても大丈夫！守ってもらえる安心感。

好奇心旺盛な子どもたち。いろんなことにチャレンジし、失敗を重ねながら育ちます。子どもたちが何かに集中しているときは、じっと見守ってあげたいですね。

しかし、いざ失敗したとき、間違ったとき、あやまったことをしてしまったとき。そんなときこそそれを救ってあげる“身近な人の一言”。

「だいじょうぶ」「もう一度いっしょにやってみよう」「いっしょに解決しよう」など、失敗やあやまちをあたたくフォローする一言が次への行動意欲へとつながり、また、親と一緒にことわりを言う姿があれば、あやまちを繰り返さない子どもに育つでしょう。

### 学習意欲は学習準備から。

学力づくりは学習用具を準備することから始まります。次の日に学校で使う学習用具を前の日に準備する。そこから子どもの学習への動機づけは始まっています。教科書を一冊一冊カバンに入れながら、あるいは、持っていくものを確認しながら、昨日の学習の続きを思いおこします。

また、学校について、教科書がない、鉛筆がないでは、そのことが気になって勉強どころではないでしょう。

家庭学習に於いては、学習環境も大きな意味を持ちます。身のまわりがきちんと整頓され、教科書やノート、あるいは読みたい本がさっと広げられるようであれば、スムーズに学習に入れます。

もちろん、子どもの勉強中はテレビを消すなど、大人の配慮も必要ですね。

### テレビと上手につきあいましょう。

家に帰ると、まずテレビのスイッチをON！次にスイッチにさわるのは寝る直前・・・。ということはないでしょうか？

テレビやテレビゲームは、おもしろくて楽しいという点では子どもにとってこれ以上の娯楽はありません。また、必要な情報を与えてくれたり、間接的な体験ができたという上では役に立ちます。しかし、テレビばかりにつきあわされているのは、もっと大切な直接体験の場や想像力を働かせる場が失われてしまいます。

テレビはあくまでも生活の一部を潤す道具にすぎません。見たい番組を決め、それ以外はテレビを消す習慣をつけたいですね。特に子どもが勉強にとりかかる時間や、読書を楽しんでいるときは、大人も見たい番組もちょっと控え、一緒に新聞を読んだり、読書を楽しんだりしてみたいですね。

### 読書を通して豊かな人格を。

本を読むことは、子どもの豊かな人格を形成する上でとても大きな役割を果たします。

テレビのように、イメージそのものが色つき、音つきで直接出てくる文化と違い、活字を拾いながら様々な場面を想像し、人物の心情を読みとり、自分なりのストーリーを完成させていく楽しさがあります。また、様々な言葉に出会うことで、豊かな表現力も身につきます。

このことは、自学自習の力を養う上でとても大切なことなのです。

「よい本との出会いは、よい人物との出会い」とも言います。

テレビに子どもを任せるとは、読み聞かせをしたり、一緒に読んだりしながら、毎日でも本を読む習慣をつけたいですね。

### 誉めることは認めること。

子どもにとって大切なのは自信と自分を大切にできる力です。

自分を大切にできないならば、友だちや家族を大切にできないのではないのでしょうか。子どもにとって誉められること、認められることは、自信や自尊心を身につけていく上で大事な水や栄養のような役割を果たします。大きな幹に育つにはしっかりと根を張ることが必要です。ちょっとした子どもの行いでも、その場で言葉のメッセージを伝えましょう。「うれしい」「ありがとう」という言葉とともに、「あなたが私の子どもでよかった」という思いを、たっぷり注いであげましょう。

何があってもゆるがない(自らの命を絶ったり、友だちを傷つけたりしない)大きな幹に育つでしょう。

### 子どもって、一人では育ちません・・・。

「人は決して一人ではいられない・・・」当然のことですね。特に子どもはいろんな人と出会い、その人とかわることを通して自らの生き方を学んでいきます。

家庭・学校・地域・・・そして仲間・・・

しかし、今の子どもたちにはコミュニケーション能力を培う場、あるいは生かす場が少ないという現状があります。2002年度より各校に導入される“総合的な学習の時間”では、そうした力の育成が一つの柱でもあります。

地域の人やもの(施設や建物など)こと(生活や歴史など)と豊かに出会い、相互に関わりを持つことで、生き生きとした家庭、生き生きとした地域、そして生き生きとした子どもを育てていきたいと考えます。

広げましょう！二中校区ネットワーク。

今を生きるわたしたちの手で・・・

**ふれあいタイム**  
 「家族でふれあいコミュニケーション」  
 月曜日～金曜日までに最低1回(20分)の「ふれあいタイム」  
 「ふれあいタイム」はテレビを消して・・・  
 絵本の読み聞かせ  
 子どもと一緒に声を出して本を読む。  
 家族で読書(大人は新聞でもいいですね)  
 子どもの音読を皆で聞く・・・などはどうでしょう。  
 20分に限らず、週に何度でも・・・  
**やってみませんか? 「ふれあいタイム」**